

6. 事前対策リスト

災害時の応急対応を効果的に行えるよう、①事前対策リスト（自助）と、②事前対策リスト（共助）を考えましょう。

②事前対策リスト（共助）は、第3回ワークショップの議論をもとに、災害対応の「特に優先度の高い活動」とそのための「事前対策」をテーマ毎に検討し、まとめました。

(1) 事前対策リスト（自助）の考え方

▶ p27 参照

自助を普及啓発するために、災害に備えて日頃から家庭で準備しておきたい事柄をチェックリストにしました。いつも使っているものを災害時にも使えるように、分かりやすい場所に置いておくことが大切です。

(2) 事前対策リスト（共助）の考え方

▶ p28 参照

1) 「特に優先度の高い活動」の考え方

実際の災害では、限られた資源を特に優先度の高い活動に集中投下する判断が求められます。被害状況の把握とそれにもとづくその後の対応について、その優先度合いを考えます。

2) 事前対策（必要資源）の考え方

優先度が高い活動を円滑に進められるように必要な備えを行います。活動テーマごとの事前対策リストを、以下の「人、モノ、情報、空間」の視点で考え、作成しました。

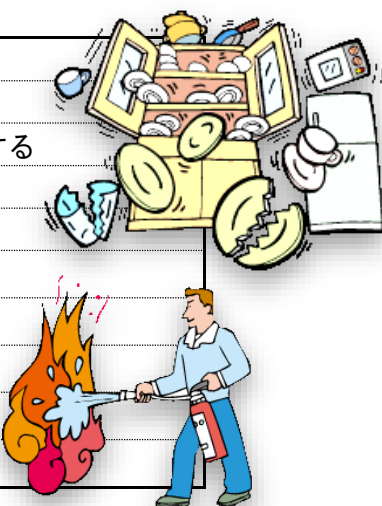
「人」は、人材や組織を育て、地区内外の関係団体と連携すること、住民同士が交流し顔見知りの関係になること等が大切です。

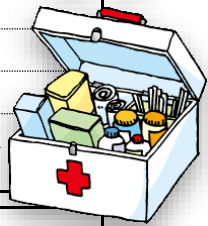
「モノ」は、救出・救護・搬送、消火等の対応に用いる資器材の配備、調達方法等を検討しておくことが大切です。


「情報」は、必要になる情報を整理し、情報収集・伝達の体制をつくり、情報連絡手段を準備し、訓練で動けることが大切です。

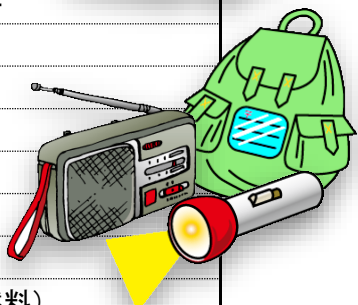
「空間」は、災害対応に必要な空間、安全な避難に必要な空間、災害に強い空間の整備、利用方法の検討等が大切です。

(3) 事前対策リスト(自助)

家の中の安全	<input type="checkbox"/> 家具が転倒しないように固定する	
	<input type="checkbox"/> 耐震診断・耐震補強をする	
	<input type="checkbox"/> 寝室には家具を置かないか、寝床に向かって転倒しないようにする	
	<input type="checkbox"/> 玄関などの出入り口までは物を置かずに避難できるようにする	
	<input type="checkbox"/> ベランダの避難用の隔壁、避難ハッチ周りに物を置かない	
	<input type="checkbox"/> 家具の扉が揺れで開かないようにする（耐震ラッチなど）	
	<input type="checkbox"/> 家具のガラス扉などは飛散防止フィルムを貼る	
	<input type="checkbox"/> 寝室に靴やスリッパ、軍手（ガラスが飛散した場合に必要）	
	<input type="checkbox"/> ほうき、ちり取り（掃除機は停電時使えない）	
	<input type="checkbox"/> 消火器の設置場所と使い方の熟知	

避難・救護	<input type="checkbox"/> 安否確認用ステッカー	
	<input type="checkbox"/> ホイッスル（閉じ込め時に音を発するため）	
	<input type="checkbox"/> 災害伝言ダイヤルなど家族の連絡方法の確認	
	<input type="checkbox"/> 応急医薬品（絆創膏、消毒薬、傷薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤、解熱剤、目薬、持病のある人は常備薬など）	

水や食料	<input type="checkbox"/> 飲料水；1人1日3リットルを最低3日分、7日分を推奨	
	<input type="checkbox"/> 水用携行タンク（飲料水の配給時に必要）	
	<input type="checkbox"/> 食料（レトルト、缶詰、インスタント食品、栄養補助食品、チョコレート等の菓子、最低3日分、7日分を推奨）	
	<input type="checkbox"/> 生活用水（飲料しない水）；風呂の汲置き、やかんやポットに水を入れておく	
	<input type="checkbox"/> 粉ミルク、離乳食（乳幼児がいる場合）、アレルギー対応食品	
	<input type="checkbox"/> ガスカセットコンロ、予備のガスボンベ	
	<input type="checkbox"/> ラップ（食器にかぶせて使えば洗わなくてよい）	
	<input type="checkbox"/> 紙皿、紙コップ、割り箸	

避難生活用品	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ（便袋）	<input type="checkbox"/> ガムテープ	
	<input type="checkbox"/> トイレットペーパー（余分に備蓄）	<input type="checkbox"/> ドライシャンプー	
	<input type="checkbox"/> ティッシュ（余分に備蓄）	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	
	<input type="checkbox"/> 懐中電灯, ランタン, マッチ, ライター	<input type="checkbox"/> マスク	
	<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> 衣類	
	<input type="checkbox"/> 電池（余分に備蓄）	<input type="checkbox"/> 生理用品	
	<input type="checkbox"/> 毛布	<input type="checkbox"/> 紙おむつ	
	<input type="checkbox"/> 虫よけ用品	<input type="checkbox"/> 雨具	
	<input type="checkbox"/> ビニールシート（敷物、雨よけ）	<input type="checkbox"/> 新聞紙（防寒、燃料）	
	<input type="checkbox"/> 貴重品リスト	<input type="checkbox"/> リュック（物資の持ち運び用）	
	<input type="checkbox"/> 情報収集先リスト（自治体 HP 等）	<input type="checkbox"/> 防災マップ	

便利なもの	<input type="checkbox"/> ソーラーまたは手動充電器（携帯、電池用）	<input type="checkbox"/> 防災カード（住所、氏名、連絡先、既往症、通院先、薬アレルギー等）
	<input type="checkbox"/> 家庭用発電機	<input type="checkbox"/> ヘルメット・工具類
	<input type="checkbox"/> 蓄電池	<input type="checkbox"/> 公衆電話用 10 円硬貨

(4) 事前対策リスト(共助)

1) 地盤被害への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①参集	・身の安全確保	<input type="checkbox"/> 家具の転倒防止 <input type="checkbox"/> ヘルメット、運動靴の準備
	・参集	<input type="checkbox"/> 参集可能者の名簿づくり <input type="checkbox"/> 集合場所の周知
②被害調査 ・分析	・情報収集（安否確認、被害状況の確認）	<input type="checkbox"/> 情報確認の分担 <input type="checkbox"/> ハザードマップ等の活用 <input type="checkbox"/> 安否確認、被害調査のマニュアルづくりと訓練
	・指揮系統の確保	<input type="checkbox"/> 組織づくり
③資器材の調達	・必要資器材の調達	<input type="checkbox"/> 資器材提供者の名簿づくり <input type="checkbox"/> 資器材の一覧表の作成
④区等に報告要請	・関係機関に情報の発信	<input type="checkbox"/> 情報発信する関係機関との連携（区役所、警察、消防等） <input type="checkbox"/> 名簿の活用

2) 建物倒壊への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①参集、体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・住民防災組織の参集 ・参集時に情報を持ち寄る ・町会役員連絡 ・活動体制整備 	<input type="checkbox"/> 連絡方法の確立（電話・メール等） <input type="checkbox"/> 住民防災組織の名簿・組織図を作成・活用（町会名簿を班で活用、本部長等の代理の指定等） <input type="checkbox"/> 組織が確立できるよう啓蒙活動
②情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・一時集合場所で対応協議 ・本部に情報の一元化 	<input type="checkbox"/> 情報収集する範囲や役割分担の仕組みづくり <input type="checkbox"/> 情報収集訓練（防災部員不在の場合に備える）
③被害調査 ・分析	・被害状況把握	<input type="checkbox"/> 防災マップ作成（出火・延焼しやすい場所を点検） <input type="checkbox"/> 被害調査マニュアルづくり、事前協議
④方針決定	・対応方針の決定・情報伝達	<input type="checkbox"/> 本部の開設・運営訓練の実施 <input type="checkbox"/> 情報伝達方法の確立
⑤資器材調達	・防災倉庫から搬出	<input type="checkbox"/> 資器材リストの作成（本部用テーブル・テント、救出救護用等）
⑥救出救護、避難誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・生き埋め者の救出・救護（複数人数で） ・マンション住民の安全確認（無事な場合は「避難済」の壁紙を貼る） 	<input type="checkbox"/> 救助要員の確保（とくに平日昼間に動ける人を確保） <input type="checkbox"/> 「危険・資源マップ」の作成・活用（まちの点検、避難路等の検討） <input type="checkbox"/> 災害時に開設する病院の把握 <input type="checkbox"/> 防災訓練を地区毎に実施
⑦道路啓開	・可能であれば道路啓開	<input type="checkbox"/> 資器材の確保 <input type="checkbox"/> 資器材を持つ地元業者との連携、事前相談

3) 建物火災への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①被害調査	<ul style="list-style-type: none"> 出火場所の確認（高層階から出火状況を見る） 	<input type="checkbox"/> 木造密集地域を確認（まちの点検）、・マンションに火の見櫓の協力を要請、・無線機の準備
②資器材の確保	<ul style="list-style-type: none"> 防災倉庫に集合 資器材の搬出、運搬 	<input type="checkbox"/> 搬出する資器材がわかるように印をつける <input type="checkbox"/> 消火資器材の習熟訓練の実施（資器材の操作方法等）
③活動体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部の立上げ 	<input type="checkbox"/> 本部の開設・運営訓練の実施
	<ul style="list-style-type: none"> 班体制を組み、現場を巡回、人命救助を実施 	<input type="checkbox"/> 腕章を確保し、協力者にもつけてもらう
④応急活動	<ul style="list-style-type: none"> 中規模火災の場合、避難所へ誘導、消防水利を配備 大規模火災の場合、避難路を確認後、避難場所に誘導 	<input type="checkbox"/> 様々な想定避難計画の検討 <input type="checkbox"/> 様々な想定避難訓練の実施 <input type="checkbox"/> 消防水利の場所を確認する（D級ポンプ、スタンドパイプ等）

4) 要援護者への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①参集	<ul style="list-style-type: none"> 各町会、自治会で一時集合場所に集合 	<input type="checkbox"/> 各町会・自治会の避難場所の決定、確認 <input type="checkbox"/> 避難場所・避難路の複数案づくり <input type="checkbox"/> 各町会・自治会の住人名簿
②被害調査 ・分析	<ul style="list-style-type: none"> 防災本部の立ち上げ（7町会・自治会） 指揮系統の確立 	<input type="checkbox"/> 組織づくり <input type="checkbox"/> 各町会・自治会会員の日頃のコミュニケーション <input type="checkbox"/> 町会・自治会同士の連携の組織づくり
	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集 要援護者の安否確認（名簿記載している） 医療従事者等との連携 	<input type="checkbox"/> 平時の近隣住民の安否確認 <input type="checkbox"/> 地域センター、民生・児童委員と連携 <input type="checkbox"/> 医療従事者、機関のリスト化 <input type="checkbox"/> 要援護者の把握、リスト作成 <input type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いの整理 <input type="checkbox"/> 情報収集の役割分担 <input type="checkbox"/> 日頃から隣近所に関心を持つ意識づけ
	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達系の確保 	<input type="checkbox"/> 情報伝達方法の決定
③対応方針の決定	<ul style="list-style-type: none"> 救護の必要性を判断（自助が可能な要援護者に待機指示） 	<input type="checkbox"/> 自助の啓発（トイレ、水、食料）
④活動体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 活動できる人の組織づくり（人の確保） 	<input type="checkbox"/> 近隣とのコミュニケーション <input type="checkbox"/> 特に若い人の人材活用
	<ul style="list-style-type: none"> 搬送機材の確保 	<input type="checkbox"/> 資器材の準備（担架、リヤカー） <input type="checkbox"/> 資器材を使った訓練・搬送場所の確認
⑤救出・救護活動	<ul style="list-style-type: none"> トリアージ（または、トリアージできる人の確保） 応急簡易手当 医療機関への搬送 	<input type="checkbox"/> トリアージの判断訓練、・医療機関の確認 <input type="checkbox"/> 資器材の準備、確保（医薬品、担架、リヤカー等） <input type="checkbox"/> 簡易救急医療品の準備・応急手当・搬送訓練

おわりに

(1) 地区防災対策に関わる「論点」

ワークショップの議論では、地区防災対策に関して参加者の意見が分かれたり、よい解決策が見つからない場合もありました。

そうした論点や悩みをテーマ毎に整理したのが下表です。今後とも、地域での話し合いのテーマとして、地域に合ったよい解決策を考えましょう。

テーマ	地区防災対策に関わる論点
①地盤被害	<ul style="list-style-type: none">・地盤被害の把握方法（擁壁の崩壊、液状化、生き埋め等）。・避難路・避難場所の安全性の確認方法（道路閉塞による避難支障等）。・避難方法の代替案の確保（災害時の迅速な判断と避難者の誘導等）。・道路被害の把握方法（道路の陥没・隆起、液状化等）。・道路啓開活動の方法（土木会社との連携等）。・交通誘導の方法（警察との連携、ドライバーへの情報提供等）。
②建物倒壊	<ul style="list-style-type: none">・建物被害の把握方法（建物被害、家具の転倒、生き埋め等）。・救出・救護に携わる従事者の安全確保（体制、装備、情報提供等）。・救出・救護のための資器材の確保（調達先情報、事業所との協定等）。・避難者が一部の避難所に集中しないための避難方法の検討（一時集合場所での方針決定等）。
③建物火災	<ul style="list-style-type: none">・火災被害の把握方法（出火点、延焼方向等）。・同時多発火災の場合の延焼阻止・避難の方法。・避難路・避難場所の安全性の確認方法（火災延焼による避難支障等）。・避難方法の代替案の確保（災害時の迅速な判断と避難者の誘導等）。・道路（歩道）の大渋滞を避けるための避難方法の検討（一時集合場所での方針決定等）。
④要援護者	<ul style="list-style-type: none">・安否情報の収集・整理・役割分担の方法（優先順位、行動手順等）。・要援護者支援の担い手確保策（民生・児童委員、福祉事業者との連携等）。・平常時における要援護者名簿の活用方法、「個別支援プラン」の作成方法。

(2) 本マニュアルの活用方法

本マニュアルの活用方法として下記のことが考えられますので、地域の皆さままで進めていきましょう。

- ① 防災の勉強会、地域住民への防災教育・啓発
- ② まち歩きと防災マップづくり
- ③ 「被災・対応シナリオ」に沿った防災訓練の企画と実施
- ④ 「被災・対応シナリオ」に沿った組織体制の見直し
- ⑤ 様々な事業所や関係機関との連携
- ⑥ その他、「事前対策リスト」の対応、整備

今後は、この「前野地区防災対策マニュアル」をもとに、各町会・自治会等の地区特性に応じた「わがまちの防災対策マニュアル」を作成することで、より一層きめ細やかな、実効性のあるマニュアルが完成します。